

## 長崎・崎津航路の利用による観光客増加を!



1

5月26～28日の3日間、長崎・崎津航路を活用した旅行プランづくりや観光客の受入態勢の検証などを目的にモニターツアーを実施しました。旅行会社や報道機関の関係者、一般客など約170人が参加。崎津漁港で地元の弁当を試食したほか、ガイドの説明を受けながら、崎津集落の散策やイルカウォッチングなどを行いました。

現在、航路利用による観光客の増加を図るため、参加者の声を生かしながら旅行プランづくりなどを進めています。



2



3

- 1 崎津集落を散策するようす
- 2 天草ロザリオ館を案内する「天草宝島案内人の会」ガイドの金澤裕巖(ひろよし)さん
- 3 船に乗り込みイルカウォッチングへ

### ◆新しい旅行プランがつけられています

旅客船運航にあわせて、新しい旅行プランがつけられています。今回の運航を記念してお得な料金となっています。詳細は、天草宝島観光協会のホームページ(<http://www.t-island.jp/p/event/detail/1628>)をご覧ください。市観光振興課または同協会(☎@2243)へお尋ねください。

## 新上五島町と連携協定を締結

●新上五島町

天草市



▲固く握手を交わす江上悦生新上五島町長(右)と中村市長(左)

6月2日、本市と新上五島町は、交流連携に関する協定を結びました。共に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録推進を図る中で、九州西岸地域の交流人口の増加や両地域の発展に向けた連携を行います。

今後、両地域を巡る旅行プランづくりや両地域の特性を生かした新商品開発、都市部での共同物産展などに取り組んでいきます。

【問い合わせ先】 本庁・観光振興課 (天草宝島国際交流会館ポルト内) ☎@1111



7月7日(金)から長崎市の長崎港と本市の崎津漁港を結ぶ旅客船が運航されます。  
 国の「船旅活性化モデル地区」事業として承認を受けたもので、観光での利用に限り旅客船事業の社会実験を来年3月まで行うことができます。  
 世界文化遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産のある長崎と天草をつなぐ、九州西岸地域の新たな観光ルートとして交流人口の増加が期待されます。皆さんも、ぜひご利用ください。

## 長崎港と崎津漁港をつなぐ「びっぐあーす」

293トン  
300人  
乗り

使用される旅客船は、長崎市の(株)五島産業汽船が運航する「びっぐあーす」(新上五島町所有)。長崎港から崎津漁港までを1日1往復します。運航日は、7月7日から9月30日までの毎週金・土・日曜日(8月11～13日を除く)。10月以降は、それまでの利用状況により検討されます。



※世界文化遺産の端島(通称「軍艦島」)付近を通ります。

この船は、長崎港と新上五島町の鯛ノ浦港間を結ぶ定期航路として毎日運航しています。天草市～長崎市～新上五島町の九州西岸地域の歴史的遺産を巡る船旅も楽しむことができます。

### ◆長崎港～鯛ノ浦港(新上五島町)の運航時間

長崎港→鯛ノ浦港	8:00 発 → 9:40 着	13:00 発 → 14:40 着	17:00 発 → 18:40 着
鯛ノ浦港→長崎港	8:00 発 → 9:30 着	11:00 発 → 12:40 着	17:00 発 → 18:40 着

※運航の詳細は、(株)五島産業汽船☎095(820)5588へお尋ねください。

長崎港と崎津漁港が旅客船で結ばれます